

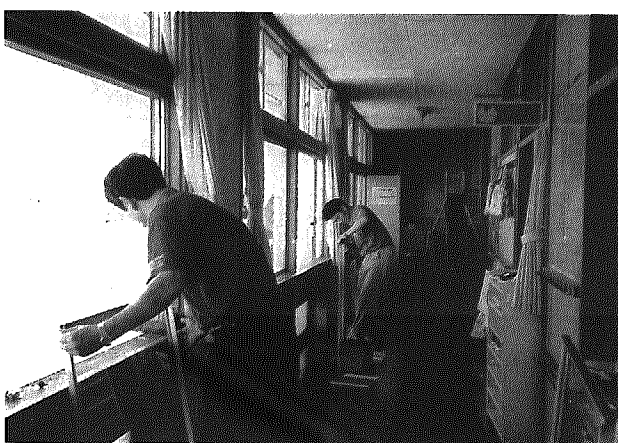
合唱や踊りを披露

8月27日(木)
第10回町老連芸能祭が農村環境改善センターで開催されました。町内の老人クラブが30団体集まり、合唱や踊りなど43の演目が披露され、参加者は楽しい一日をすごしました。



稚魚をつかみ取り

8月29日(土)
夏休み最後の週末、木場上谷地の農業用水路で鯉のつかみ取り大会が行われました。これは、親と子の健康づくりの一環として、自然とのふれあいを体験してもらおうと開催されたものです。スタートの合図とともに、手に網を持った子供たちはいっせいに錦鯉の稚魚約2,000匹を追いまわしました。



ボランティアで保育所を修理

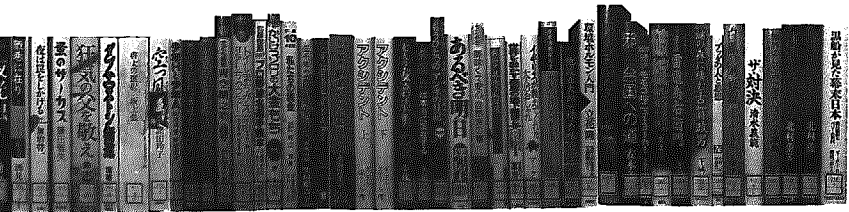
去る7月、黒崎町建築組合青年部のみなさんが町内の保育所の各種修理作業を行いました。これは、同組合が例年行っているボランティア活動で、今年7月4日から25日まで興野・木場・立仏・板井保育所の雨どい掃除や手洗い場の水漏れ修理、戸や窓の立て付け直しなどを行いました。

元気よくパドルを漕ぎ

8月19日・20日
町内の小・中学生54人が参加し、わんぱく広場・夏のキャンプが中条町で行われました。学校区を越えた友達との交流を目的に行われたキャンプでは、2日間にわたり食事は基本的に野外での炊飯を自ら行い、海洋スポーツとしてカヌーや、オリエンテーリングなどを集団行動で行いました。



今月のいち押し本



今月の新刊(一部)

めだまやきの化石
寺村 輝夫 作
和歌山 静子 絵
理論社
何か面白いことはないかなと捜していた王様が見つけたものは不思議な化石でした。国じゅうが大さわぎになる奇想天外なお話。

幸福の条件
津村 節子 著
新潮社
人工受精で見知らぬ男の子供を宿した女が9年後、男に告げた決意とは。一瞬の運命の揺らぎや愛の亀裂に惑いつつ、懸命に生きる女性を描く。

刑事たちの夏
久間 十義 著
日本経済新聞社
大蔵審議官の突然の墜落死。事件は警察内部、政界トップをも巻き込む一大スキャンダルへ…。命を賭して腐敗した権力機構と闘う人間たちを描く、あまりにリアルな問題作。

狂気の父を敬え
鈴木 輝一郎 著
新潮社
彼は鬼畜、魔王。されど父なり。父・信長に認められ、父を越えようと、次男・信雄はひとり煩悶し、密かに伊賀忍びに戦いを挑み、初めて心許せる大人・光秀に出会った…。父と子の相剋を描く一大スペクタクル・ロマン。

町立図書館

問い合わせ ☎377-5300
開館時間
平日 午前9時~午後6時
土・日 午前9時~午後5時
10月の休館日
5日(月)、10日(土)、12日(月)、
15日(木)、19日(月)、26日(月)
〈絵本の読み聞かせ〉
毎週水曜日午前10時30分から



中学生の体験ボランティア

8月25日(火)
一人暮らしの老人や老人世帯に月2回昼食を届ける給食サービス事業を、黒崎中学校の生徒約30人が体験をしました。午前10時から社会福祉協議会の職員に同行し給食サービスを行った後、老人クラブ連合会主催の交流会ではレクリエーションや食事をしながらの歓談などで世代を越えたふれあいをもちました。

まちの二コース
町の様々な出来事をお伝えします